





令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 愛知県立名古屋特別支援学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	<小学部> 2年生 12名 <中学部> ABスタディ 9名 <高等部> ABスタディ 17名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・保健体育） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<小学部> オリンピック・パラリンピックのいくつかの競技を体験するなかで、体を動かすことを楽しむ。 <中学部> パラリンピック種目のボッチャを実施し、ルールや戦術などを理解することで、ボッチャをより身近なものにし、生涯スポーツとして楽しむことができるようにする。 <高等部> オリンピック・パラリンピックの歴史やシンボルについて学習し、正式種目を知ることで、東京2020についての期待感を高める。
5 取組内容	<小学部> 体づくり運動を行う中で、学習の流れをオリンピックに見立て、国旗掲揚（引っ張る運動）、聖火リレー（運ぶ運動）、ボクシング（押す運動）、乗馬（バランスをとる運動）、アーチェリー（引いて放す運動）を行った。 <div style="text-align: right;">  <p>小2 アーチェリー</p> </div> <中学部> 保健体育の授業でパラリンピック種目のボッチャを実施した。試合を行う前に自作教材の的当ての練習を繰り返し行い、狙ったところに投げられるようにした。 <div style="text-align: right;">  <p>中 的当て</p> </div>

	<p><高等部> 体育理論の授業で、プレゼンテーションソフトを用いてオリンピックとパラリンピックの日程やキャラクター、種目や道具の紹介を行った。また、それらをクイズ形式で行うことで、楽しみながら知識の定着を図った。YouTube を活用し、オリンピック音頭の紹介をグループごとで行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="464 344 911 622"> <p>パラリンピック特有な種目</p>  <p>シッティングバレー</p> <p>6人制で基本的には普通のバレーボールのルールで先に3セット先取したチームが勝ち、選手は前からお尻にかけて床についたままプレーする。</p> </div> <div data-bbox="919 344 1362 622"> <p>パラリンピック特有な道具</p>  <p>タンデム自転車 義手 義足</p> </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">高 スライド資料</div>
6 主な成果	<p><小学部> 動画を見ながら繰り返し活動することで、雰囲気を感じながら、楽しんで自ら体を動かすことができた。また、がんばったことやできたことを自ら発表できる児童もいた。</p> <p><中学部> 生徒は1球で状況が変わることに驚き、ボッチャの奥深さや楽しさを体験できた。12月に行われた第21回愛知県ボッチャ大会に参加申し込みをする生徒がいるなど、学校以外でも生涯スポーツとしてボッチャを楽しもうとする姿が見られた。</p> <p><高等部> 生徒のオリンピック・パラリンピックへの関心が高まってきた。普段の会話の中にも、代表選手の話や期待が聞かれるようになってきた。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p><小学部> オリンピックやパラリンピックの動画を見ながら学習を行い、雰囲気を味わえるようにした。</p> <p><中学部> 日本選手権やパラリンピックの競技の動画を視聴し、日本代表選手の投げ方や戦術を解説し、より高いレベルで競技できるようにした。</p> <p><高等部> クイズ形式のプレゼンテーションソフトを作成し、グループの実態に応じて紹介し、説明を行った。</p>
8 主な課題等	<p>各部の取組の中で、オリンピック・パラリンピックに興味関心を示す児童生徒が多くいた。しかし、児童生徒が学校教育以外の場面でそれらの活動を自主的に継続することは難しい状況にある。愛知県内で行われる各種大会などを紹介し、保護者の理解も得ながら継続して活動できるとよい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>来年度行われる東京2020に向けての学習や、パラリンピック正式種目であるボッチャを年間指導計画に位置付けて活動していく予定である。各部とも、児童生徒の障がいの程度や状態、発達段階に合わせて系統的に指導していけるように保健体育科の教科会などで情報交換をしていきたい。</p>